

評価結果の公表

施策名 地域における持続可能な循環型社会の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	環境にやさしい持続可能なまち
施策	地域における持続可能な循環型社会の形成
主管部局	市民協働部
主管課	環境課
関係課	環境課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民一人ひとりが「もったいない」という意識や「美しいまちをつくる」という意識を持ち、市民、事業者、行政が一体となって、ごみの減量化及び資源化へ取り組むことで環境負荷の少ない持続可能な循環型社会が構築されたまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	30,399	0
(2)事業費	423,112	457,051
フルコスト（歳出合計）	456,318	457,051
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	24,855	22,264
(5)一般財源（市税収入など）	398,257	434,787
歳入合計	423,112	457,051

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標1

指標名	ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量										単位	g/人・日	
											現状値	650.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	640.0	635.0	630.0	625.0	620.0	615.0	610.0	605.0	600.0	595.0	590.0		
実績値	652.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	(資源を含めたごみの総排出量(t)－資源の排出量(t)) / 総人口/365日 × 1,000,000 ※総人口は、年度末の人口												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出等により、外出自粛、事業者への休業要請及び飲食店のテイクアウト推奨等の結果、家庭系ごみの量が増加し、事業系ごみの量は減少しています。												

有効性指標2

指標名	資源化率										単位	%	
											現状値	25.7	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	28.0	28.0	28.5	28.5	29.0	29.0	29.5	29.5	30.0	30.0	30.0		
実績値	31.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	資源の排出量/資源を含めたごみの総排出量 × 100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新しい生活様式が定着したことにより、紙資源以外の資源の回収量が前年度から増加しています。												

評価結果の公表

施策名 地域における持続可能な循環型社会の形成

有効性指標 3

指標名	「地域の清掃活動に取り組んでいる」市民の割合										単位	%
											現状値	34.1
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	35.0	35.0	36.0	36.0	37.0	37.0	38.0	38.0	39.0	39.0	40.0	
実績値	41.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「地域の清掃活動に取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	ごみゼロ運動やクリーンアップ・ザ・ワールド in 大府などの地域清掃活動が市内に広がっており、割合は増加傾向にあります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
ごみ減量化推進事業	環境課	6,354 (6,354)	指標名	家庭系ごみ（資源除く）の一人1日当たりの排出量			妥当性	A
			単年度計画値	515.0			有効性	A
			単年度実績値	535.0			効率性	B
			単年度達成率	96.3%				
			最終目標に対する達成率	86.9%				
事務事業の方向性								
A：拡大 東部知多衛生組合では平成31年4月から新ごみ処理施設エコリを稼働させており、その施設の負担を軽減させ、長寿命化を図るためには拡大していくべき事業です。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
資源回収事業	環境課	152,314 (152,314)	指標名	出前講座（環境学習）受講者数			妥当性	A
			単年度計画値	956.0			有効性	A
			単年度実績値	70.0			効率性	B
			単年度達成率	7.3%				
			最終目標に対する達成率	6.9%				
事務事業の方向性								
A：拡大 資源回収を推進することでごみの減量化が図られ、ごみ処理のコスト削減につながります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
地域環境美化推進事業	環境課	19,254 (19,254)	指標名	不法投棄対応件数			妥当性	A
			単年度計画値	170.0			有効性	A
			単年度実績値	164.0			効率性	B
			単年度達成率	103.7%				
			最終目標に対する達成率	91.5%				
事務事業の方向性								
A：拡大 「健康都市おおぶ」みんなで美しいまちをつくる条例をさらに推進していくため、美しいまちづくり表彰や路上禁煙地区の啓発などを実施していきます。								

評価結果の公表

施策名 地域における持続可能な循環型社会の形成

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
廃棄物収集処理事業	環境課	241,994 (241,994)	指標名	午前中回収の未完了件数（平常時）	妥当性	A
			単年度計画値	0.0	有効性	A
			単年度実績値	0.0		
			単年度達成率	-		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 ごみ収集場所の増加に対応しながら、経費の上昇を最小限に抑制していく必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
し尿収集処理事業	環境課	36,402 (36,402)	指標名	現年度分の収納率	妥当性	A
			単年度計画値	99.0	有効性	A
			単年度実績値	99.3		
			単年度達成率	100.3%		
			最終目標に対する達成率	100.3%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 引き続き、し尿清掃手数料の滞納整理を強化していきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	プラスチック資源循環促進法の制定により、容器包装プラスチックとプラスチック資源（製品プラスチック）の一括回収について検討が進められています。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対応するための新しい生活様式の定着に伴い、容器包装プラスチックの回収量が増加しており、資源回収方法について検討を進めていく必要があります。
施策の推進に向けた今後の方針	プラスチック資源循環促進法におけるプラスチック資源の回収について、国等からの情報収集に努め、回収品目や方法について検討を進めていきます。

評価結果の公表

施策名 地球環境にやさしい取組の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	くらしの健康
政策	環境にやさしい持続可能なまち
施策	地球環境にやさしい取組の推進
主管部局	市民協働部
主管課	環境課
関係課	環境課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民、団体、事業者及び行政が環境に対する高い意識を持ち、地球環境にやさしい取組を積み重ねることにより、環境負荷の少ない、人と自然が共生する快適なまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	30,300	0
(2)事業費	23,435	28,649
フルコスト（歳出合計）	59,111	28,649
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	2,859	2,521
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	1,993	6,646
(5)一般財源（市税収入など）	18,583	19,482
歳入合計	23,435	28,649

4 「くらしの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標1

指標名	市内の二酸化炭素排出量										単位	千トンCO2	
											現状値	1,257.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	1,191.5	1,158.7	1,126.0	1,093.2	1,060.5	1,027.7	995.0	962.2	929.5	896.7	864.0		
実績値	1,129.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	環境省の部門別二酸化炭素排出量の現況推計の値（現状値である基準年度H30は、H28の実績値を引用しているため、単年度実績値については2年度前の実績値を引用する。） 年間32.75千トンCO2削減を計画												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	環境性能の高い製品、自動車等の普及に加え、環境負荷軽減の啓蒙活動により排出量は減少しています。引き続き事業所や市民とともに脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していきます。												

有効性指標2

指標名	「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や節電などの省エネルギーに取り組んでいる」市民の割合										単位	%	
											現状値	32.9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	34.0	34.0	35.5	35.5	37.0	37.0	38.5	38.5	39.5	39.5	40.0		
実績値	29.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や節電などの省エネルギーに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合 2年に1回の市民意識調査で1.2%増加を計画												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛などにより家庭で電気を使う時間が増えています。温室効果ガス排出抑制など持続可能な低炭素社会の実現に向け、市民が行う創エネルギー・省エネルギー・蓄エネルギーの取組を積極的に支援する必要があります。												

評価結果の公表

施策名 地球環境にやさしい取組の推進

有効性指標 3

指標名	河川の水質・大気・騒音の環境基準達成率										単位	%
											現状値	73.3
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	73.3	73.3	73.3	73.3	73.3	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	
実績値	48.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	河川の水質・大気・騒音の測定結果が、国・県の定める環境保全上の基準を達成している測定か所・物質数/河川の水質・大気・騒音の測定か所・物質数×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	生活環境を脅かす要因の早期発見並びに適切な指導及び処置を実施する必要があります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
環境基本計画 推進事業	環境課	15,628 (15,628)	指標名	環境基本計画基本方針指標目標達成率	妥当性	A
			単年度計画値	50.0	有効性	A
			単年度実績値	77.8		
			単年度達成率	155.6%		
			最終目標に 対する達成率	97.2%	効率性	B
事務事業の方向性						
A：拡大 市民・事業者・行政の協働により策定した環境基本計画に基づき各種事業を推進する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
地球温暖化対策 推進事業	環境課	20,711 (20,711)	指標名	温室効果ガス排出量原単位の削減率	妥当性	A
			単年度計画値	△1.0	有効性	B
			単年度実績値	0.9		
			単年度達成率	-90.0%		
			最終目標に 対する達成率	-90.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 持続可能な低炭素社会の実現に向けて、取組の推進及び意識啓発を実施します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公害対策事業	環境課	12,936 (12,936)	指標名	河川の水質・大気・騒音の環境基準達成率	妥当性	B
			単年度計画値	73.3	有効性	B
			単年度実績値	48.5		
			単年度達成率	66.2%		
			最終目標に 対する達成率	57.1%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 生活環境を脅かす要因の早期発見並びに適切な指導及び処置を実施する必要があります。						

評価結果の公表

施策名 地球環境にやさしい取組の推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公害防止協定 推進事業	環境課	3,152 (3,152)	指標名	公害防止協定締結事業所等調査の適合率	妥当性	B
			単年度計画値	100.0	有効性	B
			単年度実績値	92.0		
			単年度達成率	92.0%	効率性	B
			最終目標に 対する達成率	92.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 定期的な調査及び指導を実施し、公害発生の防止を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
狂犬病予防推 進事業	環境課	6,684 (6,684)	指標名	狂犬病予防注射接種率	妥当性	A
			単年度計画値	90.0	有効性	A
			単年度実績値	87.8		
			単年度達成率	97.6%	効率性	B
			最終目標に 対する達成率	97.6%		
事務事業の方向性						
A：拡大 狂犬病を予防するため、予防注射の実施率が向上するよう個別案内及び啓発活動を実施していく必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	世界的に猛暑や豪雨など地球温暖化が原因とみられる異常気象による災害が増加しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域の清掃活動などの実施方法を検討する必要があります。
施策の推進 に向けた 今後の方針	持続可能な低炭素社会の実現に向けた取組を着実に進めていきます。